

瓦で液状化防止



あいち産業科学技術総合センターと名古屋工業大学などは22日、瓦を活用して地震の際に起きる液状化の被害を軽減する方法を発表した。

瓦を直径5ミリ以下に細かく砕いた材料(シャモット)を住宅やマンホールの周囲に埋める。震度6の揺れを再現した模擬実験では、液状化によりマンホールが地上に浮き

細かく砕き、埋めると効果

あいち産業技術センターなど

出るといった被害を抑える効果が確認できた。
センターによると、揺れで砂の粒子がすれることで液状化が起きるが、角張った形をしているシャモットは摩擦力が大きいいため、液状化しにくいという。

瓦は愛知県の特産品の一つ。産業廃棄物として捨てられていた規格外の瓦を使うためコストは安くすむ見通し。研究チームは「東日本大震災で発生したがれきに含まれる大量の瓦の処分法としても有効ではないか」といい、今後土木関連企業などと協力して実用化を目指す。